

第3学年 社会（歴史・公民的分野）年間指導計画

1 教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 評価の観点

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って公民としての自覚を持って責任を果たそうとする。	現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断する。	現代の社会的事象に関する様々な資料を収集し有用な情報を選択し、考察した過程や結果を図表化したり、まとめたり発表など行う。	現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理解、その知識を身に付けている。

3 評価基準（100点満点）

方法	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・ 判断・表現	観察・資料活用 の技能	社会的事業につい ての知識・理解	合計
定期試験	5	15	15	25	60
提出物	10	5	5		20
授業態度	10		5		15
レポートなど課題		5			5
合計	25	25	25	25	100

4 使用教材

教科書「新しい社会 歴史」（東京書籍）
教科書「新しいみんなの公民」（育鵬社）

5 年間学習計画（140時間）

学期	月	単元名	学習目標	時間	主な評価規準	評価方法
1	4	第6章 二度の世界大戦と日本	・昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目させながら、特に経済の混乱から社会問題、軍部の台頭、戦争の勃発から敗戦までの経緯を理解する。 ・戦時下の国民生活をなるべく身近に感じさせるとともに、戦争の惨禍にも目を向けさせ、関心や態度を養う。	20	・二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのか追究する態度を身に付けようとしている。（関心意欲） ・日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し自分の意見を述べることができる。（思考判断） ・写真や記録、表やグラフなどの資料を活用して、当時の情勢や国民の生活を読み取ることができる。（資料技能） ・二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら概要を理解している。（知識理解）	態度 発表 発表 テスト
	5					
	6	第7章 現代の日本と世界	・第二次世界大戦後の日本の民主化と再建、国際社会への復帰について世界の動きと関連させながら理解する。 ・高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解する。 ・国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持たせるとともに、将来の社会に期待を抱かせ、社会の一員としての自覚を深めさせる。 歴史的分野のまとめ	15	・戦後の日本の歩みについて関心を持ち、高度経済成長期における国民生活の変化を関連する日本や世界の動きに関心を持っている。（関心意欲） ・戦後の日本の歩みについて考え、時代が大きく変わる時期を考え、自分の意見を述べることができる。（思考判断） ・多くの写真や資料を用いて、国民生活の変化を読み取ることができる。（資料技能） ・終戦から現在に至るまでの出来事の概要を世界の動きと関連させて理解し、その知識を身に付けている。（知識理解） ・第二次世界大戦前後の動きを理解する。（知識理解）	態度 発表 作業 テスト
	7	第1章 私たちの生活と現代社会	・現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともにわが国の伝統と文化に関心を持たせ、文化の継承と創造の意義に気付かせる。	5 20	・現代社会における文化の意義や影響、わが国の伝統や文化に対する興味や関心を高めている。（関心意欲） ・少子高齢化、情報化、グローバル化などが政治、経済、国際関係に与えている影響について、多面的・多角的に考察することができる。（思考判断）	態度 発表

		自分の考えを根拠を明らかにして文章に書く。	・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解させ、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付かせる。 ・現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」などの視点があることを具体的な社会生活と関連付けて理解させる。		・統計資料などから少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代日本社会の特色や社会の変容などを適切に読み取ることができる。(資料技能) ・現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」などの視点があることを具体的な社会生活と関連付けて理解する。(知識理解)	発表 テスト
2	9	第2章 私たちの生活と政治 ○日本国憲法の基本原則 ○基本的人権の尊重 ★言語活動 資料から読みとったことを発表する。	・日本国憲法三つの根本原則について理解を深め、日本国民統合の象徴である天皇の地位と天皇の国事行為について理解させる。 ・具体的な事例を通して、日本国憲法に定められている基本的人権の種類やその内容について理解させる。 ・	20	・日本国憲法の特色について制定の経緯などから意欲的に考えようとしている(関心意欲) ・日本国憲法について、制定の経緯、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重などを多面的に考察している。(思考判断) ・基本的人権に関する問題や、身近に存在する問題を発見し、収集した資料などを活用しながら自分なりの考えをまとめることができる。(資料技能) ・日本国憲法の原則や保障されている基本的人権や社会の変化に伴って主張されてきた新しい人権について理解し、身の回りに潜む差別や国際社会における人権問題について、どのような課題があるか具体例をあげて説明できる。(知識理解)	態度 発表 観察 テスト
	10	3章 民主政治と政治参加 ○民主政治のしくみ ○国会・内閣 裁判所・地方自治 ★言語活動 自分の考えを根拠を明らかにして発表する。	・民主政治のしくみやマスメディアの影響、考え方について理解させるとともに、主権者として政治に参加する意義を理解させる。 ・新聞記事や統計資料などを活用し、現実の政治の動きを多面的・多角的にとらえさせる。 ・国会を中心とするわが国の民主政治のしくみや政党の果たす役割と課題、三権分立のしくみについて理解し、民主主義の充実への意欲を高める。 ・地方自治の基本的な考え方を理解させる。	15	・わが国の政治や選挙制度、民主政治や三権分立のしくみ、新聞記事などに興味を持っている。(関心意欲) ・主権者として国民が政治に参加することの意義を、身近な事例を通して考えることができる。また、国や地方の政治的な課題について、問題事象に対して多面的・多角的に考察することができる。(思考判断) ・国や地方公共団体の政治に関する資料を、さまざまな情報手段を活用して収集し、自分なりに課題を調べたり、関係する資料からの確に課題を読み取ることができる。(資料技能) ・政治に参加するための方法や、三権分立のしくみ、国や地方の政治のしくみなどを理解している。(知識理解)	態度 発表 発表 テスト
	11	第4章 私たちの生活と経済	・経済の基本的な概念を理解させる。 ・消費者問題と消費者保護のための法・制度を理解させる。 ・流通・生産における企業の役割を理解させる。	25	・身近な消費生活を通じて、経済活動や産業構造について関心を持ち、市場経済において、価格が決定されるしくみや金融機関の役割、為替相場に関心を持っている。(関心意欲) ・経済活動に関する事象を多角的にとらえ、身近な事例から経済について考えることができる。(思考判断)	観察 発表
3	1	★言語活動 書く活動を通して自分の意見をまとめる。	・市場経済における価格変動のしくみ、経済における金融機関の果たしている役割、為替制度について理解させる。 ・市場経済における政府の役割を理解し、租税・財政についての理解を深める ・日本の社会保障制度の課題を財政面と少子高齢化面から考え、将来のあり方について考えさせる。		・消費生活や経済活動に関する資料や新聞記事などを読み取り、それぞれの課題について図やグラフにまとめたり、的確に発表したりすることができる。(資料技能) ・経済活動が生活のための手段であり、生活の維持・向上のためにあるという経済活動に意義を理解し、企業の役割、金融機関の役割、政府の役割など理解する。(知識理解)	観察 テスト
	2	第5章 私たちと国際社会の課題 ★言語活動 書く活動を通して、習得した知識や概念を元に考えをより深める。	・国家や国際社会との関わりを認識させ、世界平和の実現に向けた国際的な取り組みについて理解させる。 ・国際社会における日本の役割や国際貢献のあり方を考えさせる。 ・地球環境、資源、エネルギー、人口、食糧問題の現状、要因について理解するとともに国際社会やわが国の取り組み、課題を理解させる。 ・地球環境、資源、エネルギー、人口、食糧問題の解決に関心を持ち、社会のあり方や自分の生き方について考えさせる。	20	・地球環境を守るための努力や活動について関心を持ち、社会のあり方や自分の生き方を考えている。(関心意欲) ・地域紛争の多発や核兵器の拡散など冷戦後の世界情勢の変化を踏まえ、世界平和に向けた国際連合や国際社会の取り組みの意義や課題を考えることができる。(思考判断) ・地球環境を守る努力について、行政や企業、地域や家庭などが取り組んでいることなどの資料を収集することができる。(資料技能) ・わが国の外交、防衛、国際貢献などの現状や、循環型社会の形成に向けたさまざまな取り組みの基礎的知識を身に付けている。(知識理解)	観察 発表 観察 テスト